

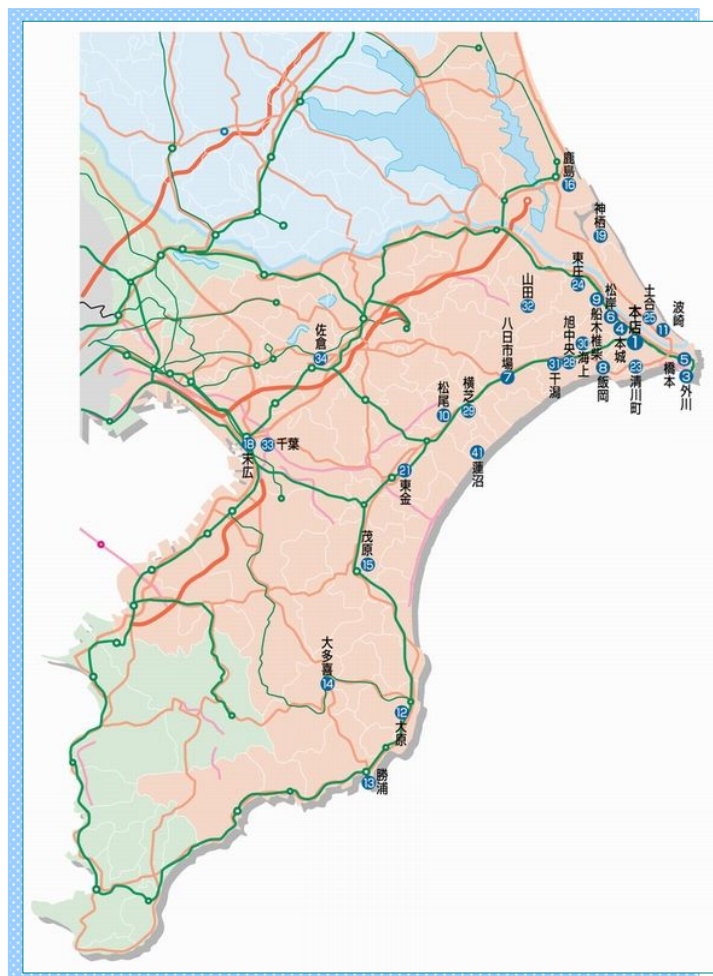
2012

12月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	0	27	2

【漁業】

銚子港の平成24年11月の総水揚げ数量は41,258トンで前年同月比+12,519トンの増加となった。総水揚げ金額は3,807百万円で前年同月比+64百万円の増加となった。鯖の水揚げが大幅に増えたが鰹・鯖等が前年同月比水揚げ数量・金額ともに減少した。

11月は鯖の魚群が銚子近海に形成され、大型の良質な真鯖の水揚げが続いた。

【農業】

銚子地区では、キャベツ・大根の本格的出荷は12月からになるが潤沢な集荷による値崩れが懸念される。キャベツは秋冬産地の出荷が続いており、Lサイズ（10Kg）500円後半で推移、大根も豊作の見通しで相場はLサイズ600円程度と安値が続く見込み。

【商業】

個人消費については、気温の低下による冬物衣料の好調や、年末に向けてのギフト関連の動きに活発化が見られ、観光客等が戻ってきている地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

【建設業】

平成24年10月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で16,610百万円（前年同月比▲12,820百万円）、茨城県は17,840百万円（前年同月比▲11,603百万円）となった。また前月（9月）と対比して千葉県は▲15,502百万円、茨城県は▲4,655百万円の減少となった。公共機関からの受注工事は、前年同月比、前月比とも千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前年同月比では国、地方の機関とも受注は下回り、前月比では茨城県で国の機関からの受注が上回る結果となった。

【観光業】

観光業は、秋の紅葉シーズンに入り養老溪谷などでは、11月中旬から週末の稼働状況が好転し12月中旬まで例年程度の集客が続く模様。

遊漁船関係はヒラメの釣果が好調であり、10月からはハナダイ釣等も活況となり利用客が増加した。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年11月の総水揚数量は41,258トンで前年同月比+12,519トンの増加となった。総水揚金額は3,807百万円で前年同月比+64百万円の増加となった。鯖の水揚げが大幅に増えたが鰹・鮪等が前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも増加した。

11月は鯖の魚群が銚子近海に形成され、大型の良質な真鯖の水揚げが続いた。サンマの魚体は小型魚が多く、加工原料には不向きで飼料・餌用が大半となる。

波崎港では、稼働日数は前月より増加して10日となった。11月の総水揚数量9,292トン、総水揚金額803百万円、対前月比水揚数量は+3,474トン増加、水揚金額も+399百万円の増加となった。近海での鯖中心の操業となり、安価な魚価は加工業者に寄与する。

勝浦港では、総水揚数量は570トンで総水揚金額368百万円となった。前年同月比では、総水揚数量で+21トン増加、総水揚金額は▲9百万円減少した。前月対比では、鮪、カジキが戻ったことから総水揚数量で+358トン、総水揚金額も+174百万円増加した。

大原では伊勢エビが小ぶりで水揚げ量も少なく、低調に推移している。

水産加工業では、前浜で品質のよい鯖が揚がっており、比較的安価に仕入れできたため、今後の収益に寄与できる。サンマの入荷はあるが、魚体が小さいことから解凍サンマの需要が戻っている。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

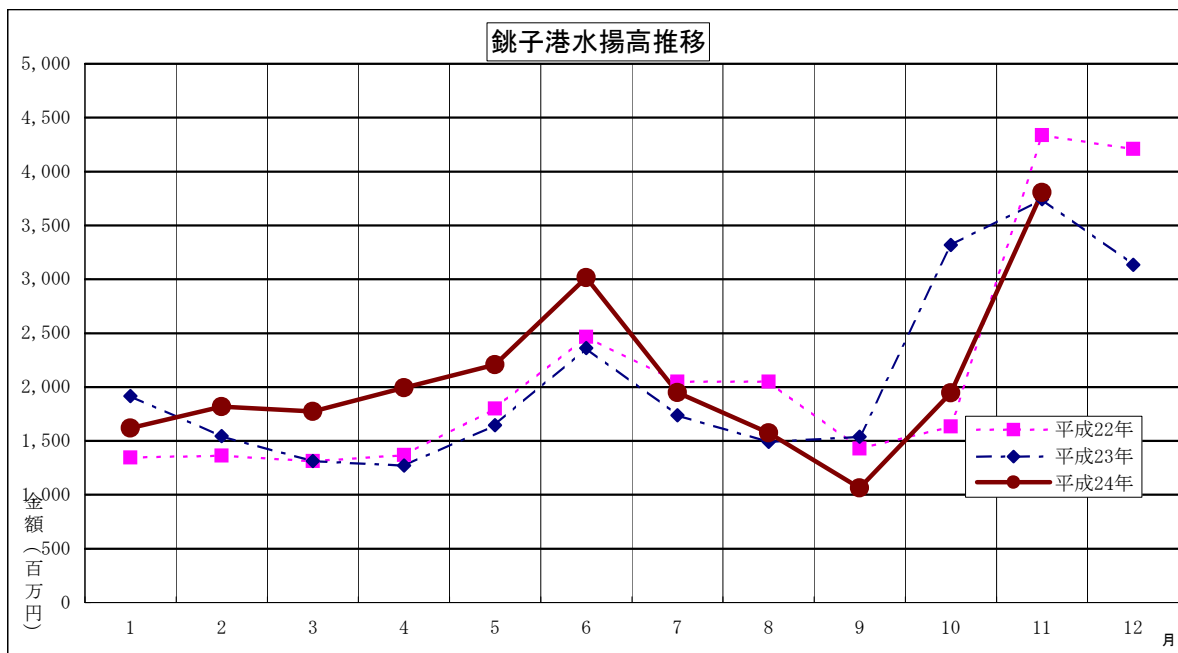
種類	区分	数量 (トン)			金額 (千円)		
		H24年11月	H23年11月	前年同月比	H24年11月	H23年11月	前年同月比
鰯		888	1,184	▲ 296	56,649	80,559	▲ 23,910
鯖		25,807	12,414	13,393	2,118,094	1,421,803	696,291
鰹		342	1,251	▲ 909	60,335	105,146	▲ 44,811
鰹・鮪		1,565	2,484	▲ 919	735,051	957,810	▲ 222,759
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		12,231	10,969	1,262	581,322	905,753	▲ 324,431
底曳		178	191	▲ 13	85,892	86,027	▲ 135
その他		248	246	2	169,699	185,295	▲ 15,596
合計		41,258	28,739	12,519	3,807,041	3,742,393	64,648

前月比	数量	223.79%
	金額	195.60%
前年同月比	数量	143.56%
	金額	101.73%

水揚日数

	H24年11月	H24年10月	H23年11月
鰯	4日	0日	8日
鯖	12日	10日	12日
鰹	6日	7日	10日
鰹・鮪	23日	22日	24日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	24日	11日	18日
底曳	17日	20日	20日
その他	24日	24日	24日





■ 農 業

銚子地区では、キャベツ・大根の本格的出荷は12月からになるが潤沢な集荷による値崩れが懸念される。キャベツは秋冬産地の出荷が続いており、Lサイズ（10Kg）500円後半で推移、大根も豊作の見通しで相場はLサイズ600円程度と安値が続く見込み。

波崎地区のピーマンは、前月、前年同月比安値で取引された。ハウスでの重油暖房での経費がまかなえず現状は大幅な赤字となっている。JA出荷の農家は価格保証保険で補填を受けてしのいでいる。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～40円程度、トマトは1箱（4Kg）700円～2,200円程度で取引された。前月と比較してキュウリは3円程度値上がりし、トマトは100円程度値下がりして取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

飯岡地区のパセリは（200g、25束）3,500円、春菊（150g、20束）2,000円の出荷で、前年同月比高値で推移した。

横芝光町のブランドねぎ「ひかりねぎ」が収穫時期に入ったが、（5.5Kg、1箱45本）2,400円と、通常ねぎより300円程度高値で取引されている。

■ 商 業

個人消費については、気温の低下による冬物衣料の好調や、年末に向けてのギフト関連の動きに活発化が見られ、観光客等が戻ってきている地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

マイカー購入は一段落したが、エコ自動車の購入支援策が継続しており、小型車を主に販売は戻り基調にある。また、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度が始まり、関心が高まったことから、太陽光発電の設置やエコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業では、一部で好調な先は見られるが、依然回復感は低調に推移している。消費者の節約志向が強く、大型店の進出が続いていることから、厳しい状況が続いている。

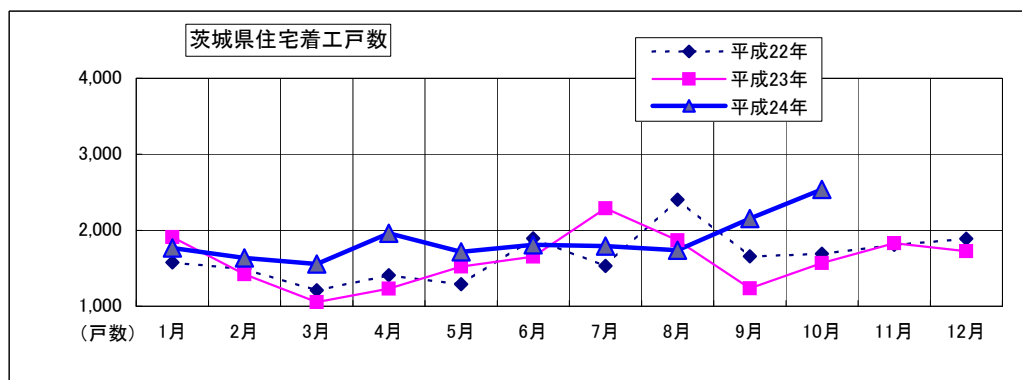
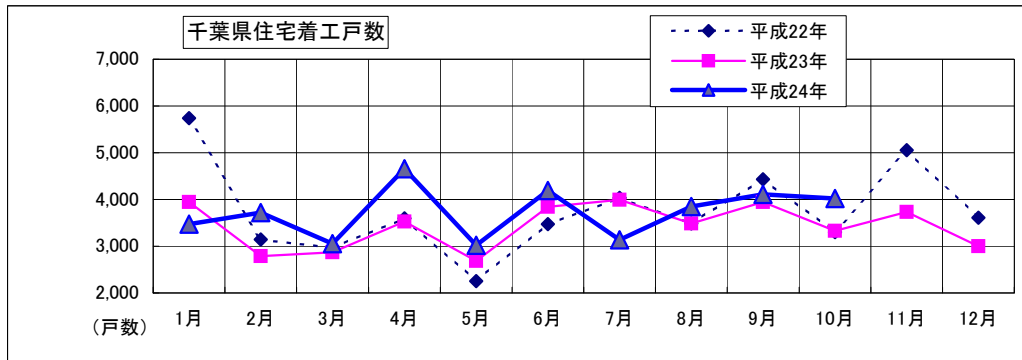
石油卸業者は、冬季シーズンを控え石油価格の低下から、在庫を積み増している。

旭市や匝瑳市の国道126号沿いに大型店が相次いで開店しており、既設大型店との競争の余波が中小小売店にも及んでおり、影響の拡大が懸念される。

■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	4,019	4,113	▲ 94
茨城県	2,538	2,153	385



平成24年10月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で16,610百万円(前年同月比▲12,820百万円)、茨城県は17,840百万円(前年同月比▲11,603百万円)となった。また前月(9月)と対比して千葉県は▲15,502百万円、茨城県は▲4,655百万円の減少となった。

公共機関からの受注工事は、前年同月比、前月比とも千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前年同月比では国、地方の機関とも受注は下回り、前月比では茨城県で国の機関からの受注が上回る結果となった。

平成24年10月の住宅着工戸数は、千葉県では4,019戸と前年同月比+20.69%(689戸)の増加、茨城県では、2,538戸で同+61.76%(969戸)増加した。なお、前月(9月)対比については、千葉県で94戸の減少、茨城県では385戸の増加となった。

国土交通省統計情報より

■ 観光業

観光業は、秋の紅葉シーズンに入り養老溪谷などでは、11月中旬から週末の稼働状況が好転し12月中旬まで例年程度の集客が続く模様。11月は七五三等の祝い月であったが前年を下回った。

遊漁船関係はヒラメの釣果が好調であり、10月からはハナダイ釣も活況となり利用客が増加したが、天候不順による出漁回数の減少が懸念される。

年末・年始の宿泊客の予約状況は良好で、各施設とも満室の見通しである。

銚子地区では、銚子ジオパークの認定を受け、観光を主体とした地域活性化のイベントが企画されている。

大多喜地区では紅葉時期に入り、養老地区を中心に観光客が目立ってきており、前年対比増加の店舗も多くなっている。

飯岡地区では、遊漁船でヒラメ・真鯛の釣果がよく客足も順調だったが、後半は天候の影響が見られた。

いすみ地区では、遊漁船でショウサイふぐが最盛期になり、いすみ市主催の釣りフェスタも定員を満たして盛況であった。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 不動産業

千葉市では、不動産購入の希望者はあるが、駅周辺の物件に集中しており、物件が不足気味になっている。

茨城県神栖市では、土合地区で複数の分譲計画が進んでいる。合わせて、大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、今後も企業の土地売却の動きが見られ、供給過剰が懸念されている。

■ 養豚業・畜産業

平成24年11月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均209円/kgで前月比+16円/kg値上がりした。前年同月比については+15円/kg値を上げた。豚枝肉の卸売価格相場は、398円/kgで前月比▲1円/kg値下がりした。前年同月比では+5円/kg値上がりした。養豚業においては、飼料価格が高騰しており、厳しい状況が続く。

■ 自動車ディーラー

平成24年11月の千葉県新車登録台数は11,049台で、前年同月対比92.10%（▲948台）の減少となり、3ヶ月連続で前年同月台数を下回った。また、前月対比では110.41%（+1,042台）の増加となった。

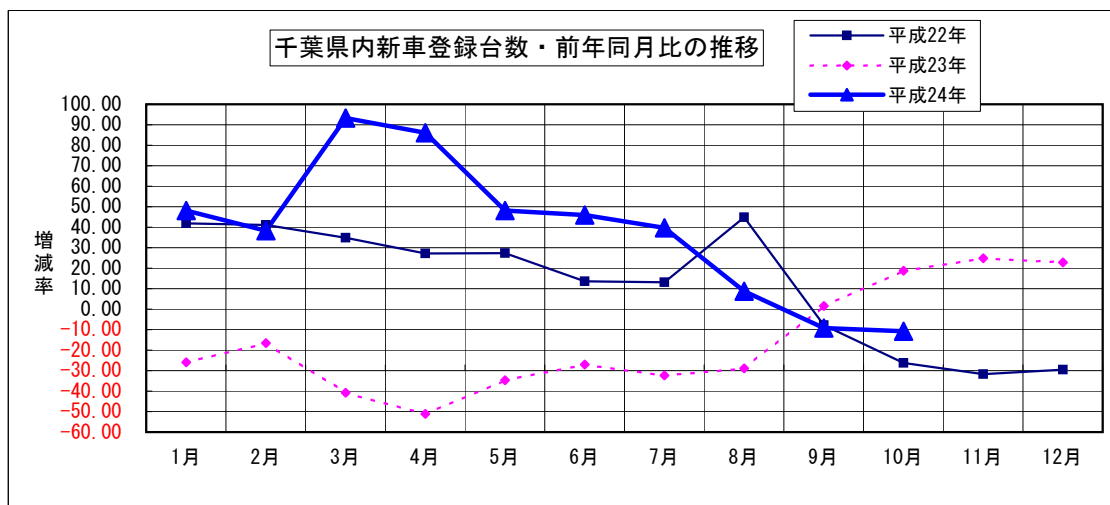
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では9,528台の登録台数で前年同月対比90.83%（▲962台）となった。また、貨物車市場は1,236台の登録台数で前年同月対比100.57%（+7台）となった。

占拠率はトヨタが50.8%を確保しており、次いで2位は、4ヶ月連続で日産（13.0%）となり、ホンダ（10.4%）は3位となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	4,752	3,979	119.43%	5,601	84.84%
	小 型	4,776	4,585	104.17%	4,889	97.69%
	小 計	9,528	8,564	111.26%	10,490	90.83%
貨 物	普 通	425	373	113.94%	358	118.72%
	小 型	811	773	104.92%	871	93.11%
	小 計	1,236	1,146	107.85%	1,229	100.57%
特 殊 等	特 殊	249	268	92.91%	241	103.32%
	バ ス	36	29	124.14%	37	97.30%
	小 計	285	297	95.96%	278	102.52%
総 合 計		11,049	10,007	110.41%	11,997	92.10%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.72	0.73	▲ 0.01	0.65	0.07
茂原公共職業安定所管内	0.47	0.46	0.01	0.55	▲ 0.08
いすみ公共職業安定所管内	0.55	0.54	0.01	0.58	▲ 0.03
成田公共職業安定所管内	0.77	0.73	0.04	0.67	0.10
佐原公共職業安定所管内	0.62	0.56	0.06	0.51	0.11
千葉県	0.70	0.66	0.04	0.57	0.13
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.80	0.84	▲ 0.04	0.80	0.00
茨城県	0.77	0.81	▲ 0.04	0.70	0.07

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	374,578	366,269	8,309

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

平成24年(2012年)11月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は26件で、前月比で15件の減少となった。また、前年同月比でも9件の減少となった。

負債総額は80億5500万円で、前月比54億7900万円の増加となり前年同月比でも24億8400万円の増加となった。11月は負債総額10億円以上の大型倒産は1件で、中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、11月は2件発生し、累計で35件となった。震災後、厳しい外部環境から業績回復が果たせず、銚子市内でも震災関連倒産が発生した。

企業倒産を抑制させた金融円滑化法の実績は県内地銀3行、信金5庫で約7万8,000件であり、相応に浸透しているが、その施策効果も薄らいでおり、11月には金融円滑化法を活用しながら倒産にいたった企業がある。また、県内企業の業績そのものを向上させる明るい材料に乏しく、経営体力を消耗している企業も多いことから、企業倒産が徐々に増勢に転じる可能性が高くなっている。

倒産会社の従業員数は410名で前月より266名増加した。

産業別では「建設業」が8件(構成比30.8%)を占めた。負債総額では「建設業」が59億円(構成比74.5%)と多く、次いで「サービス業他」が5億円(構成比7.2%)となった。

原因別では、「業績不振」によるものが20件(構成比76.9%)と多く、次いで「過小資本」が4件(構成比15.4%)となった。

地域別では、千葉市や県北西部での発生が多く、倒産形態では破産が23件、銀行取引停止処分が2件と続いた。

経済の収縮と個人消費の低迷から各企業が売り上げを伸ばす材料を見出せずにいることや、円高やデフレ環境下で一般消費者の低額商品を求める動きから、最低限の利幅さえ確保できず、赤字体質から脱却できない企業が取り残されている。こうしたデフレ環境が続けば、今後も商品価格の値下げでの対抗策しか見えず、不安を感じている経営者が多い。

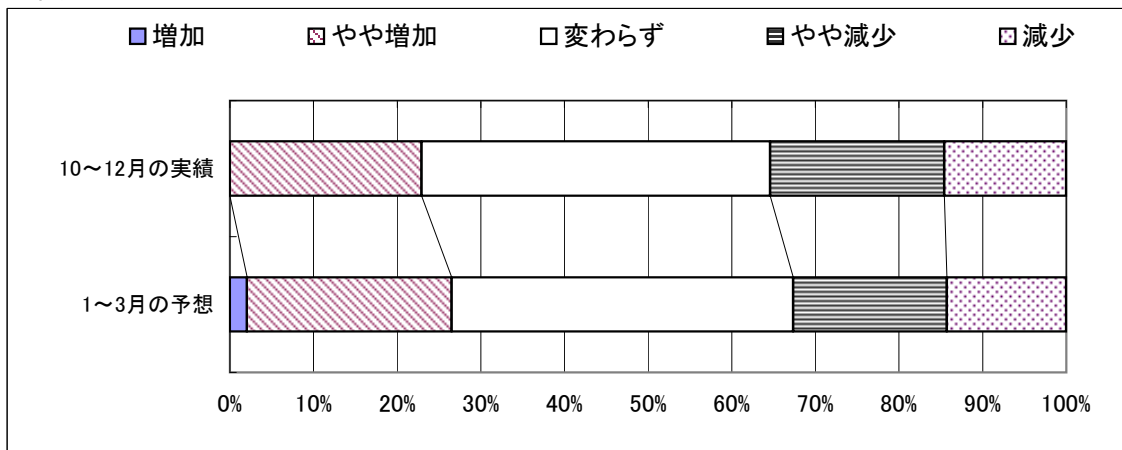
(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

特集

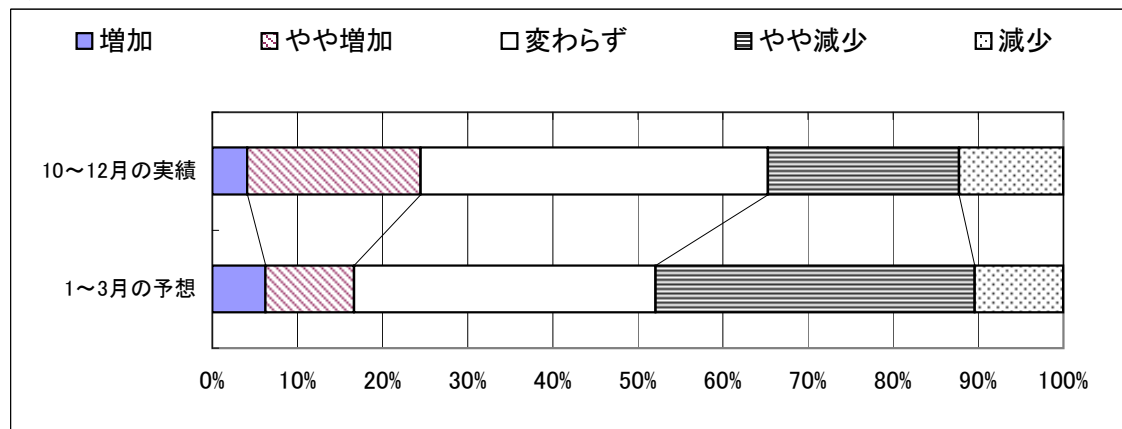
第150回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店24店舗の顧客50先で、内訳は製造業17先、卸売業8先、小売業9先、サービス業4先、建設業8先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は11月下旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

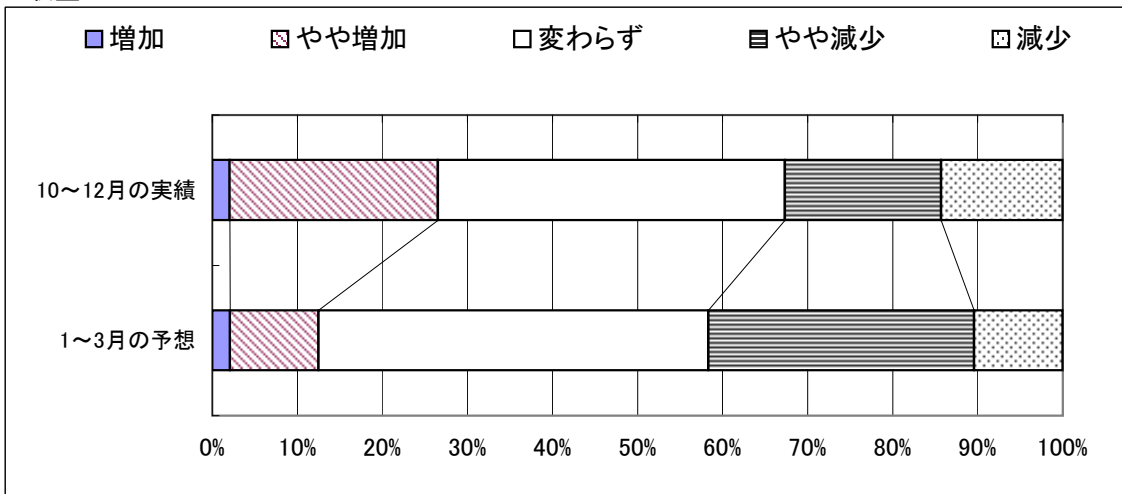
■ 業況



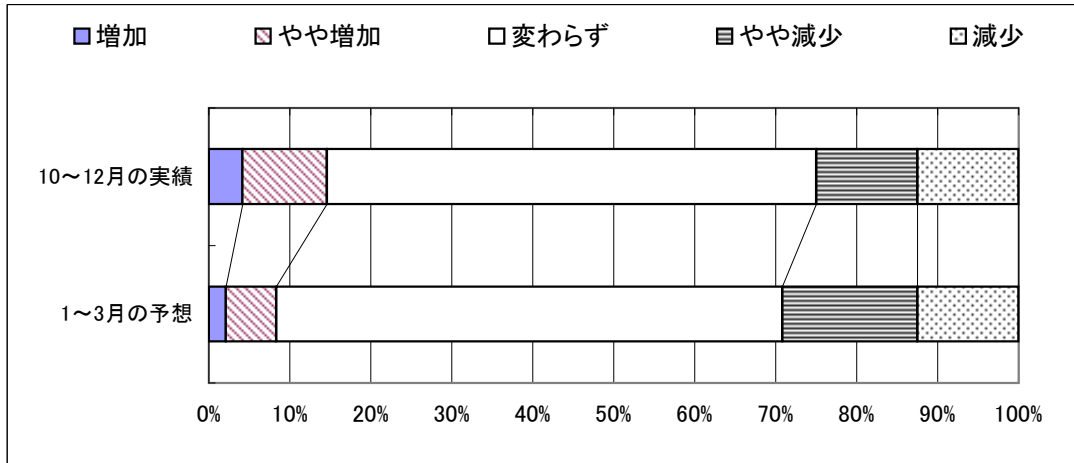
■ 売上



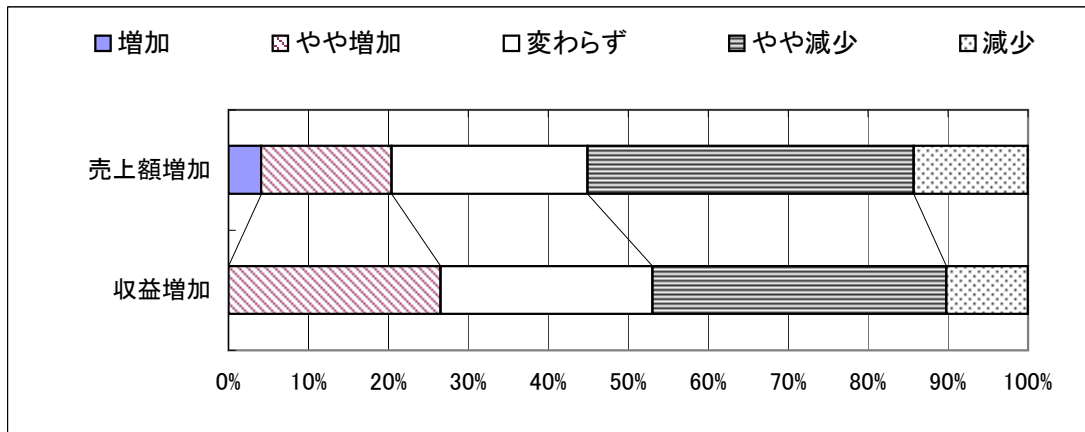
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



「経営上の問題と当面の重点経営施策」について

経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 販売納入先からの値下げ要請 ■ 同業者間の競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同業者間の競争の激化 ■ 売上の停滞・減少 ■ 取引先の減少 ■ 合理化の不足 ■ 他頻度配送の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 商店街の集客力の低下 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 人手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 人件費の増加 ■ 料金の値下げ要請 ■ 人件費以外の経費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 ■ 大手企業との競争の激化 ■ 売上の停滞・減少 ■ 地場産業の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利幅の縮小 ■ 売上の停滞・減少 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 商品物件の不足 ■ 人件費の増加

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 新製品・技術を開発する ■ 教育訓練を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 情報力を強化する ■ 新しい事業を始める ■ 人材を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 売れ筋商品を取扱う ■ 品揃えを改善する ■ 仕入先を開拓・選別する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 宣伝・広告を強化する ■ 新しい事業を始める 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 情報力を強化する ■ 技術力を高める ■ 販路を広げる ■ 新しい工法を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報力を強化する ■ 販路を広げる ■ 宣伝・広告を強化する ■ 経費を節減する ■ 教育訓練を強化

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行 ; 銚子信用金庫
編集 ; 営業推進部
住所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話 ; 0479-25-2121
FAX ; 0479-24-4591
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL ; http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんさん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】 17,850円 (うち消費税850円)

【ご入会】 当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧ください。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。